

本製品をお使いの方へ

このたびは、弊社の製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本紙では、本製品をお使いになるうえで知っておいていただきたいことを記載しております。本紙をよくお読みになり、本製品を正しくお使いいただきますようお願いいたします。

■ 搭載メモリ容量についての注意

本ワークステーションの搭載できる最大メモリ容量は 4GB となっておりますが、本装置搭載の Chipset の仕様により、3.5GB 以上のメモリを搭載した場合、BIOS / OS で認識可能なメモリ容量は約 3.5GB です。

■ ACPI スタンバイについての注意

本ワークステーションの ACPI スタンバイからの復帰動作に関し、注意事項があります。

Windows2000 上より PS/2 マウス、および PS/2 キーボードからの復帰設定を選択できません。スタンバイから復帰する場合は、電源ボタンを押してください。但し、電源ボタンを 4 秒以上押した場合は、電源が強制切断されますのでご注意ください。

■ AOL (Alert On LAN) についての注意

本ワークステーションでは、電源投入初期診断中の BIOS Events や Watchdog Events を他のワークステーションやサーバへ通知することが出来ません。また、電源が入っている状態で本体装置のカバーが開けられた場合につきましても、他装置へ通知することが出来ません。

これらに関する Alert 情報は、ワークステーションの「CMOS Setup Utility」 - 「Security Features」 - 「View DMI Event Log」より確認することができます。

■ SCSI ハードディスクについての注意

本ワークステーションでは、SCSI BIOS Setup より、Selectable Boot Settings でブートする SCSI デバイスに関する設定項目がありますが、正しく動作いたしません。ブートする SCSI デバイスは、必ず SCSI ID "0" に設定してください。

■ 電源ランプについての注意

本ワークステーションでは、電源投入直後やシステムが誤動作した場合等に、電源スイッチを 4 秒以上押すことで強制的に電源を切ることが可能です。しかし、強制電源切断を行った場合は電源ランプが消灯しません。再度電源を投入し CELSIUS670 ロゴスクリーンが表示されてから電源スイッチを押し、電源を切断してください。

■ BIOS 設定値についての注意

本ワークステーションの BIOS 設定値について注意事項があります。なお、その他の BIOS の設定内容につきましては「ハードウェアガイド」－「第3章 BIOS 設定」をご覧ください。

1. Advanced Boot Option - AC PWR Loss Recovery（復電機能）の設定

AC PWR Loss Recovery は停電などからの復電時に本体装置の電源を自動的に投入するかを設定する項目です。BIOS 設定を **Always-Off** に設定していた場合でも、数秒程度の短時間停電時には、電源が投入される場合があります。

2. PnP/PCI Configuration メニュー図の誤記について

取扱説明書の記載につきまして、以下の通り変更いたします。

PnP/PCI Configuration メニューの図中に「PnP OS Installed」の項目が記載されていますが、実際には表示されません。

3. Security Features – Clear All DMI Event Log メニューについて

取扱説明書の記載につきまして、以下の通り変更いたします。

イベントログは以下方法で消去可能です。

Clear All DMI Event Log を選択し「Enter」キーを押します。

「Clear DMI Event Log (Y/N)? N」と入力促す表示がされますので、「Y」又は「y」を入力後「Enter」キーを押してください。

4. PC Health Status メニューについて

取扱説明書の記載につきまして、以下の通り変更いたします。

PC Health Status メニューの図中及び説明文に以下の項目が記載されていますが、実際には表示されません。

- ・ CPU FAN Monitor
- ・ VBAT(V)

■ Millennium G450 搭載モデルをお使いの方へ

グラフィックスカードで Millennium G450 搭載モデルをお使いの方へ、以下の注意事項があります。

ディスプレイドライバの設定変更について

Millennium G450 搭載モデルの場合、出荷時状態では「バスマスタリング」機能が有効になっています。この設定のまま使用すると、以下のような問題が発生する場合があります。

- ・ご使用のアプリケーションにより、画面の表示崩れなど正しく表示できない場合がある。

「バスマスタリング」機能を無効にすることでこの問題を回避することができます。
設定変更方法につきましては、インストールされている OS タイプにより異なります。問題が発生した場合、以下を参照して、必ず設定の変更を行って下さい。

● Microsoft®WindowsNT®4.0 をご使用の場合の設定変更手順

1. 「スタート」メニュー → 「設定」 → 「コントロールパネル」を選択
2. 「Matrox 表示プロパティ」をダブルクリック → 「パフォーマンス」タブを選択
3. 「バスマスタリングを行う」のチェックをはずす → 「OK」をクリック
4. システムの再起動が要求されますので、「はい」をクリックし再起動してください。

● Microsoft®Windows®2000 をご使用の場合の設定変更手順

1. 画面中央を右クリック → 「プロパティ」を選択
2. 画面のプロパティの「設定」タブを選択
3. 「詳細」ボタン → 「オプション」タブを選択
4. パフォーマンス「バスマスタリングを行う」のチェックをはずす
5. 「適用」をクリック
6. 画面のプロパティ「閉じる」をクリック
7. システムの再起動が要求されますので、「はい」をクリックし再起動してください。

■ CELSIUS GL2 搭載モデルをお使いの方へ

CELSIUS GL2 搭載モデルをお使いの方へ、以下の注意事項があります。

マウスカーソルの影について

CELSIUS GL2 搭載モデルで Windows 2000 をお使いの場合、「Print Screen」ボタンを押した時に、マウスカーソルの陰影が黒くつぶれることがあります。この現象による動作上の問題はありません。

マウスを右クリックすると、カーソルの影は元に戻ります。

■CELSIUS Wildcat II 5110 搭載モデルをお使いの方へ

CELSIUS Wildcat II 5110 搭載モデルをお使いの方へ、以下の注意事項があります。

1. 画面表示について

エクスプローラ等においてマウスのドラッグによるファイルコピーなどの動作中に、まれに残像が表示される場合があります。その場合、他のウィンドウを重ねることによって残像を消すことができます。また、この現象によるシステム動作への影響はありません。

2. デュアルモニタ設定について

画面のプロパティにおける **Wildcat** の構成画面で注意事項があります。

「画面のプロパティ」－「設定」－「詳細」ボタンをクリックし、「**Wildcat** の構成」タブをクリックします。

画面の下側に「表示の最大数」という項目があります。これはお使いの環境がモニタ **1** 台であるのか **2** 台であるのかを設定する項目です。但し、CELSIUS Wildcat II 5110 搭載モデルはデュアルモニタ出力機能をサポートしておりません。Windows2000 モデルをお使いの場合、「1」「2」というボタンを選択できるようになっていますが、通常は「1」のまま変更しないでください。また、WindowsNT4.0 モデルをお使いの場合、内容が何も表示されておらず、モニタ台数を設定できないようになっています。